

オンリーワンであり続ける技術

株式会社旭プレシジョン

旭金属グループ

半導体や産業機器などの設計・加工・組立て・表面処理、特にカスタムの特種メッキ技術に力を注ぐ旭プレシジョン。表面処理をキーテクノロジとして機械加工や組立てといった前後工程も行う一貫生産会社・旭金属グループの一社である。

山中泰宏氏はグループの一角を担う旭金属工業株式会社の代表取締役社長であり、旭プレシジョンの相談役でもある。



食欲に今以上のものを求める開発力

「一流の得意先と付き合えば一流の下請けになれる」と山中氏は言う。一流の得意先は厳しい注文をつけ、できそうもないことを要求してくる。そ

当たり前になったノウハウ

同社の特殊メッキには『フォスブラックⅢ』『レジスタック』『テクノマイト』『テクノフォス』『テクノハイブラック』などがある。

新たなニーズを掘り起こし、オンリーワンであり続けるためには、特殊メッキが不可欠であった。競争社会を生き抜くためには、「他社でできるもの（普通の表面処理）はやらない」というのが山中氏の信条で、それは品質へのこだわりにもつながっている。たとえば、同社では膜厚管理が±0.1μmで行うことができる。しかし、これも同社にとっては当たり前すぎない。蓄積された現場のノウハウが高い技術力を支え、特殊で高品質のメッキを生み出す創造力の源となっている。

れに対して、同社は相手の要望に
 応えるのはもちろん、期待以上の
 ものをつくり出すとする。

失敗はある。常にトライ＆エラーの繰り返しだ。それでも、新たなものに挑戦し続け、常に技術を開発・改善していこうとするスタンスはけっして崩れない。

半歩前へ

自社のノウハウの継続・発展のために、同社は日々新規顧客を求める。毎月のホームページによる問い合わせは30〜40件程で、その



うち7〜8割は仕事になるとい
 う。その裏には積極的に展示会に
 出展するという努力がある。「お
 客様がほんとうにこんなに難しい
 技術ができるかどうか確認しに来
 る」と山中氏は言い、客との直接

的な関わりを持つ機会
 をより多く設けてオー
 ダーメイド感覚で注文
 を受ける。

「一歩先に出る」と
 ニーズに合わないため
 「二歩先に出ず、半歩
 先に出る」と山中氏は
 語る。時代の流れを読
 みつつ、先取りする姿
 勢は山中氏の柔軟な発
 想に基づいている。客
 の半歩先を読むのは満
 足を高めることへと
 繋がる。

今年11月には新たな



工場が完成する予定で、同社の独
 自性にますます拍車がかかる。オ
 リジナリティーを追求する創造力
 は日々加速しているのだ。

編集部／河合研斗



会社情報

Company Profile

株式会社旭プレシジョン

所在地：京都府 京都市上京区下立売通智恵光院西入下丸屋町 503
 TEL：075-842-0023 FAX：075-821-1944
 担当者：営業部 森口 修
 事業内容：小物精密機械加工、表面処理
 エミダス会社・工場詳細情報：
<http://www.nc-net.or.jp/emidas/gaiyou.php?34303>
 ※「エミダス工場検索」のキーワード検索「旭プレシジョン」で
 検索できます。